

# 発達障害部 通級指導教室経営計画

当校の通級指導教室は、新潟市教育委員会が発達障害通級指導教室での指導が必要であると認めた新潟市立小中学校に在籍する児童生徒に対して、その障害特性に応じた指導を行う教室です。また、新潟大学教育学部附属学校の通級指導教室として、教育の理論と実際の研究及び内地留学生や大学生・大学院生等の実習、インターンシップ等の実施に当たる使命ももっています。

## (1) 通級指導教室の役割

### ① 通級生徒への支援

障害の特性に応じて特別の指導を行う。その際、保護者との懇談、本人との面接、検査結果の分析、在籍校での生徒の様子等から、指導方法を検討する。児童生徒の実態に応じて、個別指導、グループ指導、両者の併用を行う。

### ② 特別支援教育のセンター的機能

通級生徒在籍学校担任や校内委員会と関わり、学校全体や通常の学級での支援について話し合う。また、在籍学級内における教育支援と当教室の支援内容について、当校の小学部、中学部、高等部で蓄積された指導方法を生かしていく。

## (2) 通級指導教室の目標

- 社会性やコミュニケーション能力を向上させ、通常の学級で適応する児童生徒
- 自尊感情を高め、明るく前向きに生活する児童生徒

## (3) 教室経営の方針

- 本人、保護者、在籍校の願いを整理し、達成可能な課題を設定する。
- 保護者、在籍校と連携し、共通理解のもとに協力して指導に当たる。
- 児童生徒の実態、学年等を考慮し、指導グループのメンバー構成を柔軟に考え指導を行う。
- 新潟大学と連携し、できる限り内地留学生や大学院生、大学生、ボランティアとチームを組んで指導に当たり、生徒への肯定的な認めを行っていく。

## (4) 指導者

- 当校担当者＋各学部教諭が年間1回ずつ参加
- 新潟大学関係者（内地留学生、大学院生、大学生、それぞれ若干名）
- ボランティア（校長が認めた者）

## (5) 児童生徒の人数（計42人：4月1日現在）

	小3年	小6年	小計	中1年	中2年	中3年	小計	合計
男子	1	2	3	5	14	12	32	35
女子	0	2	2	3	1	1	5	7
計	1	4	5	8	15	13	37	42

(6) 指導の形と指導内容

○指導の形

- ・グループ指導… 2～4人で1グループ
- ・個別指導… 数名

○指導内容

<社会性の向上，コミュニケーション能力の向上を図る>

- ・ルールを守りながら活動することを楽しみ，結果を受け入れる態度を育てる。
- ・表情や声のトーンから他が自分の様子を感じていることに気付かせる。
- ・相手の気持ちや考えを認めながらも、自分なりの気持ちや考えも相手に伝え、課題を遂行しようとする態度を育てる。 等

<自尊感情を高める>

- ・いろいろな活動を体験する中で，新たな自分の可能性に気付かせる。
- ・自分の言動を他から認めてもらう場を設定する。 等

<教科の補充>

- ・読字，書字，算数等の著しい苦手さをもつ児童生徒について、本人、保護者や担任と話し合い，必要に応じて在籍校や家庭と連携して指導に当たる。

(7) 指導の時間割り (表一1、表一2 参照)

○60分を1単位時間とし、児童生徒一人につき1週間に1回の指導を基本とする。

○グループ指導は原則として、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜の14時から15時、火曜、木曜の15時50分から16時50分、17時10分から18時10分に行く。それぞれのグループの指導曜日は、固定せず、2ヶ月を目安にローテーションする。

○教育相談は、適宜、実施する。

(8) その他

○在籍校が主となり作成した「個別の教育支援計画」を用いて、その内容について保護者、担任等を交えた支援会議で検討、評価していく。

【表一2 年間の指導、支援の様子】

月	予 定		備 考
	通級指導教室	本人，保護者，在籍校	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者，本人と面談</li> <li>・通級指導教室説明会</li> <li>・在籍校訪問 (授業参観)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導教室において面談</li> <li>・保護者，在籍校関係者参加</li> <li>・個別の指導計画作成(※1)</li> </ul>	※1 在籍校が個別の指導計画を作成するにあたって，通級担当が支援会議に参加する。
5～7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導</li> <li>・通級指導の記録を在籍校と共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級担当と本人との個別面談①(6月中旬頃)</li> <li>・在籍校関係者の通級指導教室訪問，並びに授業参観(※2)</li> </ul>	※2 在籍校関係者から，年間で1回以上の通級指導授業参観

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍校の普段の様子を通級担当と共有（※3）</li> </ul>	<p>を行っていた          だく。</p> <p>※3 在籍校関係者から通級担当へ普段の学校生活様子を情報提供していただく。</p>
7～8 (夏季休業中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍校支援会議へ参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議の企画運営(※4)</li> </ul>	<p>※4 支援会議については、在籍校から、支援会議の企画運営を行っていただく。</p>
9～3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導</li> <li>・通級指導の記録を在籍校と共有</li> <li>・在籍学校支援会議へ参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級担当と本人との個別面談②(11月中旬頃)</li> <li>・在籍校の普段の様子を通級担当と共有（※3）</li> <li>・支援会議の企画運営(※5)</li> </ul>	<p>※5 在籍校から、開催を弾力的に計画していただく。</p>